



*F u - Z i n*



第14回

# NPO博多の風

## フォーラム 報告

# 第10号

- 第4回探訪!! 博多祇園山笠 追山コース報告
- 福岡コミュニケーションフォーラムとの交流会実施 平成17年10月発行

# 第14回 NPO博多の風 フォーラム開催!

去る平成17年4月17日(日)に明治安田生命ホールにて「第14回NPO博多の風フォーラム」が開催されました。会場には山台製作委員会のメンバーによって製作された実物の4分の1の大きさの山笠台が飾られました。フォーラムの第一部は博多の風の活動について福田事務局長から報告され、第二部では「アビスバ福岡」の松田浩監督による講演が行われました。



## 「勝者のメンタリテイ」 講師..松田浩

今日は、お招きいただきましてありがとうございます。今日は「新生アビスバの歩み」特に、メンタル面からのアプローチについて

て、お話をさせていただきますと思います。二年前に監督の要請を受けたときに、その使命としてはチームを作るということでした。当



然、それはプロですから勝つ集団を作るということになりません。そして、その延長線上にJ1に昇格する(復帰する)ということがあったわけです。強い集団にする為には、戦術的なこと、技術的なこと、そして体力的なことを総合的に向上しなければいけないのですが、私が重視したことは、精神的な面、つまりは心の部分でした。

勝つ集団にする、勝者になるためには勝者のメンタリテイが必要だとよく言われますが、勝者には立ち振る舞いだったり、ものの考え方だったり、捉え方だったり、そういうものに共通点があります。私が来た時の「アビスバ福岡」はJ1からJ2に降格して、さらにその成績もあまり良くない、いわば負け癖が付いたような状態のチームでした。スポーツ、特にプロのトップレベルになると、技術面、体力面ではそれほど差がありません、それよりも精神

的な面で差がついています。私が始めるなければならないと思っただことは、その部分を改善していくことでした。

私が来た頃のチームはメンタリテイの部分で本当に欠けていた部分が多くありました。スポーツでよく、心・技・体ということが言われますが、その中でも私は心の部分が特に重要だと思えます。特にプロスポーツになれば、技、体の部分は既にふるいに掛けられてきた後の選手ですからなおさらそう

言えると思います。私が来た翌2003年はメンバーの入れ替えをやって大幅に若返りを図りました。平均年齢も28歳から24歳になりました。そして、今年の第2節のメンバーは22・7歳まで若返りました。私が就任した年の前期は、5勝5分12敗という成績に終わりました。この時は選手も若返り、ほとんど試合で戦ったことのない選手も多く、負け癖も残っていたので、仕方がなかったとも言えます。しかし、後期に大躍進をして、後期だけでは1位、トータルで4位という成績でした。

この後期は出来すぎのところもありましたが、勝ちだすと、選手のモチベーションが凄く高まり、また、前期が悪すぎた為にJ1昇格の目がなく、その点、プレッシャーから開放されて、伸び伸びと試合が出来たことが大きいと思えます。若い選手が多いというのは、

こういう力を持っていると思えます。

しかし、去年は最初から期待も大きくJ1昇格のプレッシャーと闘わなければなりません。後期の途中まで、そういう雰囲気があり、最後に盛り返して最終的には3位という結果で入れ替え戦に臨みました。結果、入れ替え戦では負けてしまいました。

ここで、私がサンフイレッツチェ広島時代に受けたトレーニングで勝者の言葉というものを紹介します。

●勝者は見つけようといい、敗者は誰も知らないと言ってあきらめる

●勝者はミスをしたとき自分が悪いといい敗者は自分のせいではないという

●勝者は敗北を恐れない

●勝者は努力して時間を作り、敗者はいつも忙しいといっている必要ない

●勝者は大きな問題も細かく分解して解決してしまう。敗者は小さな問題をたくさん抱えて解決できなくなってしまう。

●勝者は問題を正面から取り組み、敗者は回り道をしたあげく解決できない。

●勝者は良いプレーによって前の失敗を償うが、敗者は済まないと言って何も償わない。

●勝者は戦う対象と妥協していない対象を知っているが、敗者は安

易な妥協をして価値のないものと闘う。

●勝者は敗北から学び、敗者は新しいこと試みないで失敗しないことだけを学ぶ。

●勝者は既に高いレベルに達しているにもかかわらず、敗者はそのレベルでもないのに自分は他人よりも悪くないという。

●勝者は聞く耳を持ち、敗者は喋る番を待つ。

●勝者は説明をし、敗者は言い訳をする。

●勝者は周りの雰囲気や敏感であり、敗者は自分の感情にだけ敏感である。

●勝者は強いだけに寛大になれるが、敗者には、臆病と横暴が交互に現れる

●勝者は自分より優れた人を尊敬し、彼らから何かを学ぼうとする



るが、敗者は彼らに腹を立て粗探しをしようとする。

●勝者は実行し、敗者は約束だけを破る。

●勝者はもっといい方法があるはずだといひ、敗者は今までやってきた以外の方法はないという。

●勝者は自分のベースを知っているが、敗者はヒステリックに動き回るかタラタラ動き回るかの二つのベースしか持っていない。

全部、持ち合わせている人は、なかなかないと思います。勝者のメンタリティというものは、こういうことなんだというのを学びました。そして、生まれ変わった新しいチームにどのように勝者のメンタリティを植え付けるかということが難しい問題でした。

まずは、モチベーションを持ち続けさせることです。勝てそうなた試合の時、やっぱり駄目かと思うか、よし行けそうだと思うか、大きく変わってきます。いい思いをしたいと思わせる。これが大事になってきます。我々の年間スケジュールの中で個人面談というものがあります。これは、選手個人個人と我々が面談を行うのですが、その中で我々からチームの中でこれをやってくれというオーダーと、自分は何をやりたいという、それぞれの選手の問題を聞き出す。シーズン途中で選手が何か言っても「それは自分が決めたこと

だろう」ということになりわけです。シーズンが始まると1軍と2軍の入れ替えもあります。これもモチベーションという面からは大きな要素です。1軍と2軍の門が閉ざされていけば、2軍の選手

のやる気はそがれますし、逆に1軍の選手はあぐらをかいてしまいうことにもなります。そういう目標設定ができることが重要です。たとえば、2003年の後期は、J

1昇格の望みはなかったのですが、後期優勝を目標に掲げました。それをモチベーションにして頑張ろうということに個人としてもチームとしてもやりました。

チームの仕事は試合とトレーニングの大きく二つに分かれています。我々の仕事はコーチングです。そのひとつに、試合が終わると必ず分析を行います。その分析では成果の確認と課題の抽出の二つをやり、トレーニングでやってきたことがこういう風に生かされたということとまだまだ出て来ないことを確認するわけです。それでまた次のトレーニングに移るわけです。トレーニングでは、相手の情報を基に戦略を作る部分と、相手がどうであれ自分たちが貫くスタイルの確認を行います。それと先ほどの分析から出た成果の確認と課題の抽出によってトレーニングを行い、それを試す場が次の試合という風になるわけです。

ここで重要なことは適切な目標を持つということ。この適切というところが大事で、飛んでも高い目標だと、モチベーションは上がらないし、逆に低すぎても駄目です。モチベーションを上げ続けるためには適切な目標を持ち続けることだと思います。これはトレーニングにも言えることです。

うちのチームでは、ビデオミーティングというのをやっています。ビデオだと客観的な事実が解ります。選手は、やっていると思っているよりも実際には出来ていない部分が発見できます。それをトレーニングで生かしていくわけです。以前0対5で負けた試合がありました。しかし、ビデオで分析すると全部防ぎことが出来た失点ばかりだということがわかりました。次の試合は0対1で負けましたが、この一点も簡単に防ぎが付いているので、トレーニングで徹底的に直すわけですが、逆に3回ぐらいいは徹底的なチャンスも発見できました。そうしていくと選手も勝てるかもしれないと思っていくようになります。そうすると選手たちは勝てばいい思いが出来るし、モチベーションが上がってきます。

モチベーションには内発的なものと外発的なものがありますが、大事なことは内発的な動機付けです。外発的な動機付けは短期

的な勝利給だったり、罰金だったりということですが、やらされてくる動機付けになります。内発的な動機付けは自分の中から湧き出てくるもの。内発的な動機付けは目標に向かって試練に耐えることが出来るものです。そして、小さな成功体験を積み重ねていくことが内発的なモチベーションを高めていくことになります。こうして新生アビスパはやってきたのではないかと思えます。

最後に「良い気分の選手は、良いプレーをする」という言葉を言いたいと思います。これは、企業でもそうだと思いますが、気分が良い時にはいい仕事をしてくれると思います。逆に何か問題を抱えていたりすると仕事どころではないと思います。我々が出来ることは選手に良い気分でサッカーをしてくれることしかないと思います。そのため試合の前に我々の仕事はあると思えます。(大久保道之進)

## 第15回

## NPO博多の風フォーラム

■日時/10月23日(日) 13:00~

■場所/明治安田生命ホール

○第1部 第5回「祭菓子集まれ」楽文コンテストの優秀作品表彰式

○第2部 大庭理事長による「なんとかするさ」を演題に講演

# 探訪!!

第4回

## 山笠コース探訪開催!

平成17年6月5日

博多祇園山笠のすばらしさ、さらには博多の町に残るいろいろな歴史の流れを多くの方々にも触れてもらおうと参加者を広く一般公募し「NPO博多の風」の仲間たちの道案内で、「探訪!博多祇園山笠 追山コース」を開催しました。

今回で4回目となった「探訪!博多祇園山笠追山コース」を平成17年6月5日(日曜日)朝9時30分から心地よい晴天の下、実施しました。今回も多数の応募の中から抽選で選ばれた約100名の参加者とNPO博多の風理事、幹事、有志ら約80名に加えテレビ局スタッフ・新聞社の記者も取材に駆けつけて賑々しくスタートしました。「博多のまちと文化を理解して頂きたい」と大庭理事長より挨拶があり、その後5班に分かれ15日の追山では約30分かかる約5キ

ロのコースを約2時間かけて歩きました。語りべからは山笠の歴史や昇き手ならではの裏話などもとびだし、参加された方も「なるほど」と納得の様子でした。歴史・伝統・文化が根付く博多のまちには、様々な物語が存在し、子供から年配の方までの各世代の交流が図れ、充実した時が過ごせたと感じます。高、今回のコース探訪には、九経連の広報担当者の方も併せて参加していただき、博多の街を共に探訪すると共に、NPO博多の風との交流を深めました。



こちらが集合場所の「冷泉公園」です。NPO博多の風のメンバーが「語りべ」として同行します。



### 参加者の声

□博多区 女性2人で参加  
新聞を見て参加を申し込みました。こうやって実際に追山コースを歩いてみると、意外にお寺が多かったり知らない事ばかりで新しい発見がいくつもありました。伝統行事ですからみんなで大切にしていきたいし、他の祭りに対しても詩れるように博多の道路や電柱も綺麗にしていきたいですね。

□大宰府市 女性1人で参加  
新聞を見て参加を申し込みました。テレビでしか山笠が動いているのを見た事がないのですが、実際に歩いてみてその距離に驚きました。これからは伝統を引き継ぎ、祭りを残して欲しいと思います。祭は見ている人も参加する人も楽しくなります。娘の嫁ぎ先のおじいちゃんに80過ぎですが、今年も山笠に参加するといっていますし、女により今年も孫が出てと言っています。いまから楽しみです。

□朝倉郡 男性1人で参加  
ちよっと見ないうちに色々変わっている町並みやお寺など変わらないもの両方を見れるのがよいですね。山笠発祥の承天寺の話や昇手のみなさんの話などが大変勉強になりました。今年の山笠はちよっと違った視点で見ることができそうです。

□中央区 夫婦で参加  
山笠の事はテレビでちよっと見るくらいでしたが、今日参加して初めて「清道」が3つある事を知りました。「東町筋の道路に意外と高低差があったり、昇く人の身長に合わせて、場所が違う」という話しも勉強になりました。山笠を見る見どころのポイントもいくつか教えていただきました。今年は是非、生で見て「ちよっと」思っています。

□春日市 女性2人で参加  
新聞を見てお友達2人で参加しま

## 今回参加された方々



冷たいぜんざいを用意しております。お茶と一緒にみなさん遠慮なくどうぞ。



⑥「大博通り」には、こんな井戸もある事みなさん知っていましたか？



⑦通称「こんどう通り」です。「大博通り」から入ってきて道幅がせまくなり、この先の90度の曲がり角を一気に曲がる所が鼻取りの胸の見せ所です。



⑧この「西町筋」を下に降りたら12日の追い山ならしの「廻り止」になりますが、15日の追い山では、これから先、右に左に約1km、須崎問屋街「廻り止」までもう少しです。



⑨追山の決着点「廻り止」です。最後の角を曲がると、目の前に回り止めが見え、一気に駆け抜けます。



①柳田入りのスタート地点「山留め」です。太鼓の音と共に竹竿があがり、山笠は柳田神社を目指して動き出します。「鼻取り」「鼻さ手」「後押し」みんなの心をついで柳田入りです。



⑤通称「東町筋」です。道幅が狭く、迫力があります。この「聖福寺」の先には長い下り坂があり、山笠のスピードが上がります。



②「柳田神社の銀杏」の手前から右におれて、歓声とフラッシュの中一気に清道をめざします。清道の回り方はいろんな形があり、美しく回るのも一つのポイントです。



③柳田神社をスタートして、2番目の清道がこの「栗長寺」です。大博通りに建てられた清道を山笠が180度回って進む姿は迫力があります。



④ここが「承天寺」です。ここは清道を渡る山笠の迫力を惜んで見れる隠れたポイントの一つです。ここに、山笠発祥の地をしるした石碑があります。



福岡コミュニケーションフォーラム  
からの参加者

6月5日(日)は、福岡コミュニケーションフォーラム(略称:F C F(九経連・広報部長会)のメンバー)として、待ちに待った追い山笠コース探訪日となりました。福博出身が多いとはいえ日頃は山笠との関わりは少なく、期間中見物人として参加するのが関の山で、追い山笠コースを探訪できるとは考えても見なかつたからです。集合時間の三十分前には、冷泉公園の所定の位置に全員そろい、談笑が始まりました。

□西区 女性1人で参加  
普段2時間も歩くことが少なくなくていましたが、今回「コース探訪」に参加して博多の町にこんなにお寺が多く見どころがあるなん知らなくて大変勉強になりました。休憩所のお茶や冷やしぜんざいもおいしくいただきました。これからもがんばってください。

した。毎年山笠は見に来ますが、追山のコースを歩いたのは初めてです。実際に歩くこと意外と距離もあって大変だなと思いましたが、狭い道の所で「いかに綺麗に山笠を回すか」という事など昇手の方ならではの臨場感のある説明が良かったです。

# 来風人



## 会員紹介

### 栗田口欣壮さん

NPO博多の風 監事

■職業:自営業

■土居流 片土居町

私の家は代々商売をやっています。博多で商売を始めたのは、祖父の代からになります。明治の終わりに博多に移り住んだ当初は、蔵本町に住んでいてその後、片土居町へ移りました。そこで、つまみ細工という、簪の先についている組で折った観などの細工物や造花を創る仕事を始めました。当時は、山笠への参加も「地人間」しかできないような風潮もありましたが、祖父も一若手として参加を始めました。

私の小さい頃は綱場町や行町にあった駄菓子屋に行くのが毎日の楽しみでした。とはいえ、しょっちゅうお小遣いをもらえるわけではないので、

土居通り(当時は今の様に舗装されていませんでした)や冷泉公園に行ったり、磁石なんかをつかって肩鉄をあつめて回っていました。集めた肩鉄を肩鉄屋に売りに行くわけです。本の当の値段は分かりませんが、お店の人から5円ぐらいいもらって、それで駄菓子屋に行っていました。家が商売をしていましたから子供ながらに価格にはシビアで、友達から「向こうの駄菓子屋の方が安い」とか聞いたりするとあちこち回ったりもしていました。水につけると番号が出てくるくじがあったんですけど、あれが好きでよく買っていました。山笠の時は、直会で飲んだサイターの瓶を集めてお金に換えて駄菓子屋に行ったりもしていましたね。

通りの交通量が増えて小学生が通学時に渡るのが危険という事で、そこが両小学校の校区の境になりました。山笠は生まれたときからですから、もう生活の一部のようなものです。ちょうど中学生の時に博多地区の町界町名整理が実施されました。中学生ということもあり、あまり細かい事は分かりませんが、山笠がなくなるんかいなと不安も感じていました。解散もしようかという時に有志の先輩達のがんばりで保存会をつくってなんとか山笠を続ける事ができました。ちょうどその時期に自分達の町内も人数が減ってしまい、私と先輩の2人で手打ちに行つた日もあります。当時の人が少なかった頃のエピソードで朝山の時に1時間半ぐらいかかったという事もありました。ただでさえ参加者が少ない時に、朝山ですからもたない訳ですよ。昇き出しの時間になつて「いやー」という声と共にくつと山笠が上がつたんですが、後押しに人がいなくて前に進まずそのまま止まり、「いやー」「いやー」と3回ぐらいついてやつと進み出しました。そんな調子ですから道中も右肩を昇っていた人と左肩を昇っていた人がそのまま入れ替つたりと、ほとんど同じ人間ですつと山笠を昇っていましたね。小学生が学校に遅れるとかいってベそをかいていたという話もあります。その頃が一番人数が少なかった頃じゃないかと思えます。自分の町内でも人数を増やすために、大学の運動部の人間などにも声をかけていきました。しかし当時はお尻を出すのが恥ずかしいと思うような風潮もあり、人集めには往生しましたよ。私が高校生ぐらいの頃には人が戻つてきて、18歳の時に赤手拭をもらい自分も大学の少

林寺法部の仲間を「いつべん山笠出てみらんや？」と誘い人を増やして行きました。その後の長谷川法正さんの「博多つ子純情」の影響もあってか参加者も少しずつ増えていったように思えます。

期間中の山笠だけでなく、商工会議所100周年記念の「全国郷土祭」で東京に行って国立競技場で昇いたり、初の海外遠征でハワイへ行ったり「全国紙風山笠巡業」で京都にも行って山笠を昇かせていただきました。普段の山笠は違い、他流れの人達といろんな交流も良かったですね。ハワイの時の話ですが、最初は車輪をつけて押し、決まった場所だけを昇く予定だったんですが誰かが、「昇こうか？」と言いついて、「前さき、前さき」と前の山車の間もあけてそれからいきなりがくつと昇きだしてしまいました。ただ、勢い水の確保は難しかったようで、その当時の水当番を担当していた人達が結構大変そうでした。

私の町内では年2回、4月と10月に金比羅宮の祭りを行っています。その昔、明治通りには電車が走っていましたが、その電車通りが出来た前に今の西日本銀行の前通りに金比羅さんがあつたんですよ。線路を引く事になつて、神社を動かさないかん事になつて、結局御田神社の裏へ移させてもらった訳です。当然私も金比羅さんが明治通りの所にあつた事は知らないんですが、祝詞をあげて御祓いをする程度ですが、私たちの町内で祖父の代からずっと続いています。金比羅さんは海の神様ですから私の町内が当番の時は、人形に船を創る事が多いという話もあります。

パブルの頃多くの人が再開発の影響で、博多を離れた。私の店も、

ともとは通りの反対側にあつたのですが、銀行からの話があつて今の店の所へ移りました。父も別の所へ引っ越そうかと考えた事もあつたようですが、山笠もあるからとこの地を離れたくないと兄弟で反対して、この地で商売をつづけるように決心しました。

山笠でも昔は地域の人間ばかりだったので、年中会えるし、ちよつとした話や根回しもすぐにできていて、多少おおらかだったような気がします。今は外から来ている人が多くなつてきていますからどうしても構えてしまうところもあるような気がします。しかしそれも時代の流れでしょうからその時代にあつたやりかたでやつていく必要があると思います。現在は、私の町内も人数が増えてきて、町内運営もある程度の形になっていますが、組織の中には良い人ばかりではないかと思えます。例えば新撰組でいえば近藤勇と土方歳三のように役割分担をすることで、まとまりの良い組織になっている。統制面でも力を発揮する人もいれば、外交面に長けている人もいます。そうやって組織のバランスをとつていく事も必要だと思えます。もし、誰かが抜ければ自然と誰かがその穴をうめる。こういった事は山笠はもちろんです。一般社会でも通じるものだと思います。博多の風も理事長をはじめ、幹事の皆さんの頑張りでいろんな所との繋がりが広がっていくのを感じます。学校には卒業がありますが、会社には定年がありますが、山笠は一生ものと思つていろんな人との繋がりの中で自分もやっています。今後もこの町内で生活を続けていき、そういつた山笠で学んだ事や地域社会で教わつた事を自分の子供や孫達に伝えていきたいですね。(中山 肇)

## 福岡コミュニケーション フォーラムとの交流会



ゲスト講師に、博多祇園山笠振興会の後藤久義会長をお迎えし、福岡コミュニケーションフォーラム（九経連／広報部長会）との3回目の交流会を実施しました。「NPO博多の風」は、事業の一つに地域団体との交流を掲げており、経済団体との交流も、その一環として今年から実施しているものです。3回目となる今回は、博多祇園山笠振興会と九経連との、お互いの交流ニーズに対し、「NPO博多の風」がそのパイプ役を果たす、きっかけ作りとして存在意義がクローズアップされる良い機会となりました（福田一男）

## 第7回 はかたの町クリーン作戦



5月22日（日）9:00から小雨がぱらつく中、NPO博多の風理事、幹事、有志ら約100名にて第7回博多のまちクリーン作戦を実施しました。冒頭「汚い街では犯罪が多くなる傾向にあり、常に綺麗にする気持ちで防犯につながる」という理事長の言葉のもと始まりました。前日の心地よい天気とは異なり、小雨と冷たい風が吹く中、博多のまちをきれいにしたいという気持ちでがんばりました。

清掃活動終了後、野田理事より「続けていくことによって毎回ゴミが少なくなっているように思われます。今後もがんばって続けていきますしよう。」という言葉で5月の清掃活動は終えました。（山口覚弘）

## 第8回 はかたの町クリーン作戦

■日時：平成17年11月20日  
8:30集合（11:30解散予定）  
■集合場所：冷泉公園南角

## NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

●お問合せは「NPO博多の風」  
事務局（担当・福田）

TEL: 090-1349-5982

FAX: 092-263-7188

http://hakatanokaze.jp

E-Mail npokaze@juno.ocn.ne.jp

## 第5回

祭り童子集まれ！  
楽文コンテスト「優秀作品」  
10月23日フォーラムにて発表！



▲昨年度の表彰式から受賞者の皆さん

恒例となりました楽文コンテストも今年で第5回。市内各小中学校の御協力もあり、今回は応募総数が1000通をこえました。応募数にまけないくらい中身の濃い楽文ばかりで、各賞選定者も喜びを隠せません。「NPO博多の風賞」など、各賞の選定をしております。次回フォーラムでの作品発表に御期待ください

## ～編集後記～

9月10日の「アイランド花どんたく」の会場内での「博多祇園山笠昇き山披露」に参加させていただきました。普段は各流それぞれの山笠を昇っている参加者がそろって一つの山笠を昇くという貴重な経験となりました。山笠の昇き方や後押しにつき方など各流れによってやり方が微妙に異なる事は知っていましたが、実際に間近で見たり、普段とは違う所を押されるのは初めてでした。多少の違和感もありましたが、山笠が進みだすとさほど気にすることなく他のやり方を真似してみたりと夢中で山笠を昇っていました。やり方はいろいろでしたが、特に混乱することはなく良い山を昇くという一体感を普段とは違った形で感じる事ができました。（中山肇）

## NPO博多の風のあゆみ

平成 10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表：大庭宗一
同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師：松本龍氏（衆議院議員）
11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師：倉田 眞氏（毎日新聞編集局長）
同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師：坂口卓司氏（RKB毎日放送アナウンサー）
同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 「山笠の風」出版 同出版記念パーティ開催
同年5月	NPO（特定非営利活動法人）認証取得 理事長：大庭宗一
同年6月	NPO博多の風として登記
同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（5/1～7/31）
同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長） 永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長） 緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長） 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 優秀作品表彰式
14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師：安達一成氏（毎日新聞社記者）
同年4月	「博多の風ホームページ」開設
同年5月	第1回 クリーン作戦開催
同年6月	「探訪 !! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「NPO博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師：高橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
同年11月	第2回 クリーン作戦開催
15年4月	第10回NPO博多の風フォーラム開催 講師：永守良孝氏（RKB毎日放送株式会社 取締役）
同年5月	第3回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪 !! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「NPO博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第11回NPO博多の風フォーラム開催 講師：奥田智子氏（九州朝日放送アナウンサー）
同年11月	第4回 クリーン作戦開催
16年4月	第12回NPO博多の風フォーラム開催 講師：ワー.C.リー氏（在福アメリカ領事館首席領事）
同年5月	第5回 はかたの町クリーン作戦（雨天中止）
同年6月	「第3回 探訪 !! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第4回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「NPO博多の風広報誌：風人」発行
同年10月	第13回NPO博多の風フォーラム開催 講師：富永倫子（RKB毎日放送アナウンサー）
同年11月	第6回はかたの町クリーン作戦開催
平成 17年4月	第14回NPO 博多の風フォーラム開催 講師：松田浩氏（アビスパ福岡監督）
同年5月	第7回はかたの町クリーン作戦開催
同年6月	「第4回 探訪 !! 博多祇園山笠 追山コース」開催 「第5回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/1）
同年10月	「第15回NPO 博多の風フォーラム」開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

TEL&FAX 092-263-7188

E-Mail npokaze@junocn.ne.jp

URL http://hakatanokaze.jp

### 「NPO博多の風事業概要」

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動  
「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集れ！楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

題字：新井光守

